

ニッセイ インターネットアンケート ～「勤労感謝の日」について～

日本生命保険相互会社(社長:清水博)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ(<https://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「勤労感謝の日」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《アンケート概要》

- 実施期間：2021年10月1日(金)～10月13日(水)
- 実施方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：7,774名(男性:3,912名、女性:3,704名、性別回答なし:158名)

＜年代別回答者数＞

(名)

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	196	454	797	1,256	831	378	3,912
女性	232	558	796	1,092	688	338	3,704
合計	434	1,021	1,619	2,400	1,560	740	7,774
占率	5.6%	13.1%	20.8%	30.9%	20.1%	9.5%	100%

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問 1～6

【仕事・働き方について】

- 昨年と比較して、時間外労働時間が「減った」と回答した方は全体で20.0%となった。一方で、「増えた」と回答した方は全体で14.7%となり、年代が低いほどその割合が高い傾向にあった。
- テレワークについて、72.0%の方が「テレワークが導入されてよかった」と回答し、具体的に良かったこととして、「通勤時間が減少したこと」と回答した方が77.1%と最も多く、次いで「感染リスクが減少したこと」が69.9%となった。
- 「コロナ禍が終わってもテレワークを継続したい」と回答した方は73.1%となった。

ポイント②

質問 7～10

【飲みニケーションについて】

- 職場で飲みニケーションが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方は、全体で38.2%となり、昨年から16.1pt減少した。また、男女別では、男性は44.2%、女性は32.1%となった。

ポイント③

質問 15～19

【勤労感謝の日のプレゼントについて】

- 今年の勤労感謝の日に「プレゼントを贈る」と回答した方は、全体の6.9%だった。
- 贈られる側が欲しいものについては、「贈ってほしいものは特にない」と回答した方が24.0%と最も多く、次いで「現金・金券」が22.0%となった。

質問1 昨年と比較して、時間外労働時間は増えましたか？減りましたか？ (回答者数：5,603名)

○昨年と比較して、時間外労働時間が「増えた」と回答した方は全体で14.7%となり、年代が低いほどその割合が高い傾向にあった。
 ○業種別では、「減った」と回答した方は「サービス業」が23.2%と最も多く、次いで「情報通信業」「運輸業・郵便業」が22.6%となった。一方、「増えた」と回答した方は「金融業・保険業」が18.2%と最も多く、次いで「情報通信業」が17.3%、「教育・医療・福祉」が16.0%となった。

■昨年と比較した、時間外労働時間の増減<年代別>

(%)

	全体	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
		増えた	14.7	20.7	18.8	18.7	13.1
減った	20.0	22.0	20.2	18.9	19.8	21.7	20.3
変わらない	65.3	57.3	61.0	62.4	67.0	71.5	74.3

■昨年と比較した、時間外労働時間の増減<業種別>

(%)

	増えた	減った	変わらない
農業・林業・漁業	14.3	9.9	75.8
建設業	12.1	17.8	70.1
製造業	16.4	22.0	61.7
電気・ガス・熱供給・水道業	6.3	18.8	75.0
情報通信業	17.3	22.6	60.1
運輸業・郵便業	15.2	22.6	62.3
卸売業・小売業	14.5	20.4	65.1
金融業・保険業	18.2	21.4	60.4
不動産業	1.9	17.6	80.6
教育・医療・福祉	16.0	13.1	70.9
サービス業	12.6	23.2	64.2
公務	16.3	16.8	66.8

質問2 仕事・会社で何に対してストレスを感じていますか？ (回答者数：5,815名) ※複数選択可

○仕事・会社でストレスを感じていることについて、「給与が低い」と回答した方が25.3%と最も多く、次いで「やるべきことが多すぎる」が22.8%、「コロナ禍での新しい働き方(テレワーク等)」が19.4%となった。

■何に対してストレスを感じるか<男女別・年代別>

(%)

順位		全体		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
		男性	女性							
1	給与が低い	25.3	23.2	28.3	32.6	30.7	23.8	24.4	22.4	12.3
2	やるべきことが多すぎる	22.8	22.5	23.3	19.5	29.5	25.5	23.3	13.8	9.7
3	コロナ禍での新しい働き方(テレワーク等)	19.4	20.7	17.4	17.7	19.2	19.1	19.7	18.1	20.6
4	会社の将来性	11.7	13.3	9.7	7.9	13.0	13.4	11.9	10.4	5.2
5	勤務時間(残業が多い)	11.3	12.1	10.5	17.7	19.0	12.7	9.4	3.0	5.8
6	職場の雰囲気(人間関係)が悪い	10.1	9.2	11.4	9.7	10.6	12.7	10.4	5.2	5.2

質問3 【テレワークを実施している方への質問】テレワークが導入されてよかったと思いませんか？（回答者数：1,259名）

質問4 【よかったと回答した方への質問】テレワークが導入されてよかったことは具体的に何ですか？（回答者数：907名）※複数選択可

- テレワークを実施している方のうち、72.0%の方が「テレワークが導入されてよかった」と回答した。
- テレワークが導入されてよかったこととしては、「通勤時間が減少したこと」が77.1%と最も多く、次いで「感染リスクが減少したこと」が69.9%となった。
- 「家事に充てる時間が増加したこと」と回答した方について、男女別で見ると、女性は49.2%、男性は23.4%と25.8ptの差があった。
- 年代別では、年代が高いほど「感染リスクが減少したこと」と回答する傾向にあった。

■テレワークが導入されてよかったか<年代別>

(%)

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
はい	72.0	67.2	75.2	74.3	73.2	67.3	35.3
いいえ	5.2	6.3	6.7	4.6	4.5	6.5	5.9
どちらでもない	22.7	26.6	18.1	21.1	22.2	26.2	58.8

■テレワークが導入されてよかったこと<男女別>

(%)

順位		全体		
		男性	女性	
1	通勤時間が減少したこと	77.1	77.8	76.2
2	感染リスクが減少したこと	69.9	67.7	73.7
3	家事に充てる時間が増加したこと	32.3	23.4	49.2
4	家族と過ごす時間が増えたこと	30.1	31.3	28.2
5	集中して仕事ができること	28.2	27.6	29.5
6	仕事の効率・成果が上がったこと	20.9	20.3	22.3
7	会社のデジタル化が進んだこと	18.3	17.4	20.4
8	勤務時間（残業時間）が減少したこと	11.0	10.9	11.3

男女別で
25.8ptの差

■テレワークが導入されてよかったこと<年代別>

(%)

順位		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	通勤時間が減少したこと	74.4	79.7	74.2	78.2	81.3	33.3
2	感染リスクが減少したこと	58.1	64.6	64.4	74.5	80.7	83.3
3	家事に充てる時間が増加したこと	27.9	43.7	38.2	29.0	15.7	16.7
4	家族と過ごす時間が増えたこと	20.9	36.7	37.8	27.2	19.3	0.0
5	集中して仕事ができること	25.6	31.6	24.9	30.6	21.7	16.7
6	仕事の効率・成果が上がったこと	14.0	23.4	24.4	18.0	21.1	33.3
7	会社のデジタル化が進んだこと	20.9	19.6	17.3	18.8	11.6	16.7
8	勤務時間（残業時間）が減少したこと	14.0	9.5	12.9	10.5	8.5	0.0

質問5 テレワークをする際、以下のうち何に対してストレスを感じますか？

(回答者数：1,410名) ※複数選択可

質問6 コロナ禍が終わってもテレワークを継続したいですか？ (回答者数：1,161名)

○テレワークをする際のストレスとしては、39.2%の方が、「コミュニケーションが取りにくいこと」と回答し、次いで「出社しないとできない業務が多くあること」が19.4%となった。
 ○年代別では、40代から60代において、「コミュニケーションが取りにくいこと」と回答する割合が高い傾向にあった。
 ○「コロナ禍が終わってもテレワークを継続したい」と回答した方は73.1%となった。

■テレワークをする際のストレス<男女別・年代別>

(%)

順位		全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		男性	女性						
1	コミュニケーションが取りにくいこと	39.2	40.7	34.3	38.3	40.2	39.4	43.8	18.8
2	出社しないとできない業務が多くあること	19.4	17.0	21.4	20.9	20.7	19.2	17.8	0.0
3	自宅の光熱費が高くなること	16.5	14.7	18.6	14.9	16.7	18.3	12.1	0.0
4	自宅に十分な勤務スペースがないこと	13.1	11.7	11.4	15.3	14.4	13.4	6.3	6.3
5	ストレスを感じることはない	9.5	9.4	5.7	8.1	8.9	9.5	15.1	12.5
6	自宅のネット環境を整えなければならないこと	8.9	8.3	4.3	10.6	8.0	9.5	9.3	0.0
7	自宅に家族があり、仕事に支障をきたすこと	8.5	8.3	14.3	9.4	9.5	7.7	4.1	18.8
8	オンライン会議等のシステムが不十分であること	7.3	8.4	5.7	9.4	5.7	6.5	13.0	12.5

■コロナ禍が終わってもテレワークを継続したいか<男女別・年代別>

(%)

	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
	男性	女性						
はい	73.1	74.0	74.6	74.7	76.8	72.7	64.7	54.5
いいえ	9.0	11.3	6.8	10.3	7.7	8.8	13.2	9.1
どちらでもよい	17.9	14.7	18.6	14.9	15.5	18.5	22.2	36.4

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀いのうえ ともきのコメント>



感染状況の落ち着きとともに、オフィス回帰の動きもみられるようになってきていますが、性別を問わず現役世代の7割がコロナ禍の収束後もテレワークの継続を希望しています。コミュニケーションが取りにくいことに加え、光熱費やスペースなど、自宅で仕事することに関わるストレスはあるものの、通勤時間の減少や感染リスクの減少、家族との時間が増えるなど、補って余りあるほどの利点を感じているためと思われます。

一方で、テレワークが導入されてよかったこととして、「家事に充てる時間が増加したこと」と回答した方について男性に比べ女性の方が高くなっていたことは、在宅時間が伸びる中でも依然として家事負担が女性に偏る状況が続いていることによるものではないでしょうか。

質問7 職場の方との“飲みニケーション※”は必要だと思いますか？（回答者数：7,774名）

※お酒を飲みながら語り合い、親交を深めること

- 職場の方との飲みニケーションが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方は、全体で38.2%となり、昨年から16.1pt減少した。
- 男女別では、男性は44.2%、女性は32.1%と12.1ptの差があった。
- 職業別では、「必要」「どちらかといえば必要」と回答したのは「公務員」が51.8%と最も多く、次いで「経営者・役員」が49.1%、「民間企業や団体の正社員・正職員」が41.1%となった。

■飲みニケーションは必要か<男女別> ※（ ）内は対昨年

**男女別で
12.1ptの差**

	全体 (昨年比)		男性		女性	
必要	11.1	38.2	14.6	44.2	7.2	32.1
どちらかといえば必要	27.1	(▲16.1)	29.6	(▲18.2)	24.9	(▲9.2)
どちらかといえば不要	25.0	61.9	22.7	55.8	27.4	67.8
不要	36.9	(+16.2)	33.1	(+18.2)	40.4	(+9.1)

■飲みニケーションは必要か<年代別>

	~20代		30代		40代		50代		60代~	
必要	11.5	33.9	10.1	39.8	9.6	37.5	11.0	39.7	12.3	36.4
どちらかといえば必要	22.4	(▲12.9)	29.7	(▲10.3)	27.9	(▲15.4)	28.7	(▲13.7)	24.1	(▲21.0)
どちらかといえば不要	25.8	66.1	21.7	60.2	27.5	62.5	24.7	60.4	24.0	63.7
不要	40.3	(+12.9)	38.5	(+10.3)	35.0	(+15.4)	35.7	(+13.8)	39.7	(+21.1)

■飲みニケーションは必要か<職種別>

	公務員		経営者・役員		民間企業や団体の 正社員・正職員		自営業・自由業 (家族従事者を含む)		民間企業や団体の 契約・派遣・嘱託社員		パート・アルバイト	
必要	13.7	51.8	15.9	49.1	12.3	41.1	14.8	37.9	8.0	36.1	7.8	29.0
どちらかといえば必要	38.1		33.2		28.8		23.1		28.1		21.2	
どちらかといえば不要	21.5	48.1	15.5	51.0	24.4	59.0	21.1	62.1	31.4	63.9	28.8	71.0
不要	26.6		35.5		34.6		41.0		32.5		42.2	

質問8 【「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方への質問】その理由は何ですか？

(回答者数：2,969名) ※複数回答可

- 飲みニケーションが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した理由として、「本音を聞ける・距離を縮められるから」と回答した方が全体の57.6%となり、最も多かった。
- 年代別では、30代から60代の半数以上の方が「本音を聞ける・距離を縮められるから」と回答し、30代以下においては、「悩み(仕事)を相談できるから」と回答する割合が高い傾向にあった。

■理由<男女別・年代別>

(%)

順位		全体		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
		男性	女性							
1	本音を聞ける・距離を縮められるから	57.6	60.7	53.6	41.5	62.8	59.5	63.8	52.8	39.8
2	情報収集を行えるから	38.5	40.2	36.2	29.9	39.7	41.6	41.9	37.6	26.2
3	ストレス発散になるから	33.6	38.2	26.8	33.3	36.0	37.0	34.1	32.7	19.5
4	悩み(仕事)を相談できるから	29.2	30.0	27.5	40.8	41.4	29.6	28.5	22.8	20.3
4	人脈を広げられるから	29.2	31.2	26.7	32.7	34.2	29.3	31.5	24.6	21.1
6	悩み(プライベート)を相談できるから	12.8	13.2	12.1	15.0	19.5	13.0	11.9	10.5	10.5
7	お酒が好きだから	12.5	15.5	8.4	12.2	15.3	14.8	12.9	9.7	6.3
8	色々なお店に行けるから	9.5	9.5	9.5	8.8	15.3	12.0	7.8	7.8	3.9

質問9 【「どちらかといえば不要」「不要」と回答した方への質問】その理由は何ですか？

(回答者数：4,805名) ※複数回答可

○飲みニケーションが「どちらかといえば不要」「不要」と回答した理由として、「気を遣うから」と回答した方は全体で36.5%と最も多く、次いで「仕事の延長とを感じるから」と回答した方が29.5%となった。

■理由<男女別・年代別>

(%)

順位		全体		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
		男性	女性							
1	気を遣うから	36.5	35.2	37.9	40.4	48.1	44.6	37.5	25.7	19.6
2	仕事の延長とを感じるから	29.5	30.0	29.1	29.3	35.9	33.8	34.4	21.2	11.2
3	お酒が好きではないから	22.2	20.8	23.1	21.6	27.5	24.2	24.4	18.5	12.4
4	拘束時間が長いから	20.8	21.5	20.2	23.7	29.3	25.4	23.1	12.7	6.4
5	お金もつたないから	19.9	22.1	18.1	23.7	29.1	26.3	20.8	10.4	6.6
6	職場でコミュニケーションが十分取れているから	15.8	15.5	16.2	14.6	18.0	18.2	16.4	15.0	6.4
7	上司が苦手だから	5.8	6.0	5.6	8.7	8.9	7.6	7.1	1.7	0.2
8	同僚が苦手だから	4.0	4.0	3.9	3.5	4.7	5.4	5.4	1.3	1.0
9	説教をされたくないから	3.9	4.9	3.1	5.9	4.7	5.1	4.7	1.7	1.2
10	部下が苦手だから	2.5	2.9	2.1	1.7	2.8	4.0	3.0	1.0	0.2

質問10 今年、職場の方とオンライン飲み会をしましたか？ (回答者数：5,101名)

○「今年、職場の方とオンライン飲み会をした」と回答した方は全体で9.3%となった。

■職場の方とオンライン飲み会をしたか<男女別・年代別>

(%)

	全体		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
	男性	女性							
した	9.3	10.9	7.2	14.2	11.6	8.6	8.6	6.6	11.9
していない	90.7	89.1	92.8	85.8	88.4	91.4	91.4	93.5	88.1

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀いのうえ ともきのコメント>

職場の方との“飲みニケーション”を必要と考える方は、昨年から大きく減少する結果となりました。必要と考える割合は、性別では男性の方が女性に比べ多くなっているものの、昨年からの減少幅は男性の方が大きくなっていたことは、コロナ禍で会食できない状況が長く続く中、仕事を進めてきたことで、お酒を介することの必要性に疑問を抱くようになったことを示しているともいえそうです。

ただし、飲みニケーションが必要と考える理由として、性別や世代を問わず「本音を聞ける・距離を縮められる」が最も多くなっていたこと、不要と考える理由の上位が「気を遣うから」や「仕事の延長とを感じるから」となっていることを踏まえれば、少人数での会食から徐々に再開されていく中で、飲みニケーションの有用性についても再評価されていく可能性もあるのではないのでしょうか。

質問 11 副業をしていますか？ (回答者数：7,774名)

○副業を「している」「していた」「興味はある」と回答した方は、全体の43.1%となった。
○年代別では、30代、40代は半数以上の方が「している」「していた」「興味はある」と回答した。

■副業をしているか<年代別>

(%)

	全体		~20代		30代		40代		50代		60代		70代~	
現在している	6.4	43.1	9.4		8.1		6.1		6.3		5.6		4.5	
かつてしていた	4.3		3.5	44.9	4.4	53.1	4.2	51.4	4.2	46.3	4.0	30.7	5.5	22.8
興味はあるがしていない	32.4		32.0		40.6		41.1		35.8		21.1		12.8	
興味がない	56.9	56.9	55.1	55.1	46.8	46.8	48.5	48.5	53.7	53.7	69.3	69.3	77.2	77.2

質問 12 コロナ禍で副業への考えに変化はありましたか？ (回答者数：7,774名)

○コロナ禍で、副業への考えに変化があった方（副業について「開始した・検討し始めた・興味が湧いた」と回答した方）は全体の17.0%となり、年代が低いほど多い傾向にあった。

■コロナ禍で副業への考えに変化はあったか<年代別>

(%)

	全体		~20代		30代		40代		50代		60代		70代~	
副業を開始した	2.1	17.0	5.3		3.2		1.5		1.7		1.6		2.0	
副業を検討し始めた	3.3		8.8	28.2	6.5	28.2	3.4	21.8	2.8	16.0	1.1	7.2	1.4	6.6
興味が湧いた	11.6		14.1		18.5		16.9		11.5		4.5		3.2	
変わらない	83.1	83.1	71.9	71.9	71.8	71.8	78.1	78.1	84.1	84.1	92.8	92.8	93.4	93.4

質問 13 【「開始した」「検討し始めた」「興味が湧いた」を選択した方への質問】 その理由は何ですか？ (回答者数：1,315名) ※複数選択可

○コロナ禍で副業への考えに変化があった理由として、「経済的に余裕を持ちたいため」と回答した方が64.1%と最も多かった。

■理由<年代別>

(%)

順位		全体						
			~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
1	経済的に余裕を持ちたいため	64.1	64.8	71.2	64.4	62.0	52.2	49.0
2	勤務先の将来に不安を感じたため	17.3	12.3	19.4	19.8	19.1	8.4	6.1
3	在宅中にできるため	16.6	12.3	17.0	17.5	17.0	17.3	12.2
4	経済的に困窮しているため	15.5	20.5	19.1	13.6	13.9	14.5	14.3
5	時間に余裕ができたため	13.4	14.8	11.1	11.3	13.4	22.2	18.4

質問 14 【副業について「現在している・検討し始めた・興味が湧いた」と回答した方への質問】副業でしていること・検討し始めた・興味が湧いたことは何ですか？

(回答者数：1,652名) ※複数選択可

○副業でしていることとして、「ネット販売」と回答した方が19.6%と最も多く、次いで「株・FX」が16.6%となった。
 ○年代別では、20代以下において「ネット販売」と回答した方が34.1%と最も高かった。
 ○副業で検討している・興味が湧いたこととして、いずれも「株・FX」と回答した方が最も多かった。

■副業でしていること<年代別>

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
ネット販売	19.6	34.1	19.3	26.3	14.6	12.6	24.2
株・FX	16.6	12.2	26.5	20.2	12.6	15.4	9.1
アンケートモニター	3.0	2.4	4.8	3.0	3.3	0.8	3.0
農業	2.2	2.4	0.0	1.0	2.0	5.0	3.0
不動産投資	2.0	2.4	1.2	1.0	2.6	1.5	3.0

■副業で検討していること<年代別>

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
株・FX	23.6	23.7	33.3	21.8	19.7	14.3	0.0
アンケートモニター	20.1	21.1	24.2	18.2	22.7	7.2	0.0
ネット販売	16.9	18.4	19.7	23.6	15.2	0.0	0.0
WEBサイト運営	11.0	5.3	9.1	10.9	10.6	20.0	50.0
ハンドメイド・グッズ販売	10.6	13.2	12.1	9.1	12.1	0.0	10.0

■副業で興味が湧いたこと<年代別>

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
株・FX	27.8	14.8	33.3	31.0	25.8	21.7	25.0
アンケートモニター	18.9	14.8	22.8	23.4	16.0	9.0	8.3
ネット販売	13.4	11.5	15.9	16.4	10.9	7.0	0.0
自分の空き時間販売	6.8	4.9	3.7	5.5	9.8	10.0	8.3
不動産投資	6.5	4.9	9.0	7.7	5.1	4.6	0.0

質問 15 今までに、どなたかに勤労感謝の日にプレゼントを贈ったこと・もらったことがありますか？（回答者数：7,774名）

- 今までに、「勤労感謝の日にプレゼントを贈ったこと・もらったことがある」と回答した方は全体の16.5%となった。
- 男女別では、「贈ったことはあるが、もらったことはない」と回答した方のうち、女性が10.4%と、男性に比べて3.5pt高かった。

■今までに勤労感謝の日にプレゼントを贈ったこと・もらったことがあるか<男女別・年代別>

(%)

	全体		男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
どちらもある	4.7	16.5	4.9	4.3	6.0	4.9	3.6	3.6	5.4	7.7
贈ったことはあるが、もらったことはない	8.5		6.9	10.4	15.4	14.2	10.1	8.3	4.0	3.2
贈ったことはないが、もらったことはある	3.3		4.3	2.3	1.6	2.4	2.2	2.3	4.4	9.3
どちらもない	83.5	83.5	84.0	83.0	77.0	78.6	84.0	85.9	86.3	79.7

質問 16 【贈る方への質問】今年勤労感謝の日に、どなたかにプレゼントを贈る予定ですか？（回答者数：7,774名）

- 今年勤労感謝の日に、「プレゼントを贈る予定」と回答した方は6.9%で、年代が低いほど「贈る」と回答した割合が高い傾向にあった。

■今年勤労感謝の日にプレゼントを贈るか<年代別>

(%)

	全体						
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
はい	6.9	14.7	10.2	7.2	5.6	4.5	5.7
いいえ	93.1	85.3	89.8	92.8	94.4	95.5	94.3

質問 17 【贈る方への質問】プレゼントはどのようなものを贈る予定ですか？（回答者数：510名）

質問 18 【贈る方への質問】プレゼントの予算はどの程度を考えていますか？（回答者数：487名）

質問 19 【贈られる方への質問】勤労感謝の日にプレゼントをもらうなら、どのようなものが欲しいですか？（回答者数：4,744名）

- プレゼントの内容について、贈る方は「食事・グルメ」と回答した方が25.8%と最も多く、次いで「筆記用具（ペンなど）」が19.7%となった。
- 贈るプレゼントの金額については、母の日、父の日では「3,000円～5,000円未満」が最も多かったのに対し、今回は「3,000円未満」が最も多くなった。
- 贈られる側が欲しいものについては、母の日では「生花・カーネーション」と「食事」が、父の日では「食事」と「酒類」が上位だったのに対し、勤労感謝の日のプレゼントは、「贈ってほしいものは特になし」が24.0%と最も多く、次いで「現金・金券」が22.0%となった。

■贈る予定のプレゼント<男女別・年代別>

(%)

順位		全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
		男性	女性							
1	食事・グルメ	25.8	22.2	29.4	18.8	27.9	29.3	21.6	33.3	23.8
2	筆記用具（ペンなど）	19.7	23.7	15.1	21.9	18.3	14.7	14.2	28.3	33.3
3	酒類	8.1	8.6	7.5	9.4	7.7	11.2	9.0	3.5	4.8
4	花	6.9	5.8	8.3	7.8	6.7	6.9	7.5	2.8	9.5
5	現金・金券	5.6	6.6	4.9	6.3	5.8	2.6	11.2	1.0	2.4

■プレゼントの予算<勤労感謝の日・母の日・父の日>

順位	金額		
	勤労感謝の日	母の日	父の日
1	3千円未満	3千円～5千円未満	3千円～5千円未満
2	5千円～1万円未満	3千円未満	5千円～1万円未満
3	3千円～5千円未満	5千円～1万円未満	3千円未満
4	1万円～3万円未満	1万円～3万円未満	1万円～3万円未満
5	3万円以上	お金をかけない	お金をかけない
6	お金をかけない	3万円以上	3万円以上

■プレゼントに欲しいもの<男女別・年代別>

(%)

順位		全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
		男性	女性							
1	贈ってほしいものは特にない	24.0	37.4	26.5	17.0	19.7	21.8	25.8	26.9	28.7
2	現金・金券	22.0	28.1	29.8	31.1	26.5	23.8	21.8	16.7	15.5
3	食事・グルメ	20.0	22.7	30.0	17.8	17.3	20.0	20.3	22.8	19.6
4	旅行	6.5	7.4	9.5	4.9	5.1	6.4	5.9	9.5	7.1
5	酒類	4.9	11.5	1.7	3.0	5.1	5.1	4.7	5.4	4.4

■プレゼントに欲しいもの<勤労感謝の日・母の日・父の日>

順位	勤労感謝の日	母の日	父の日
1	贈ってほしいものは特にない	生花・カーネーション	食事・グルメ
2	現金・金券	食事	酒類
3	食事・グルメ	手紙・メール・絵	手紙・メール・絵

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀いのうえ ともきのコメント>

勤労感謝の日は、母の日や父の日に比べプレゼントの習慣も浸透しておらず、規模も小さいものとなっていました。保育園や幼稚園などでは手作りのプレゼントを用意するなどのイベントを企画するところもあるものの、そもそも共働き世帯も多く、家事労働も含めるとお手伝いしてくれる子どもを含めた家庭内の全員が感謝される権利があるなど、気持ちを伝える相手が明確に定まらないことも浸透しづらい要因となっているのではないのでしょうか。

贈る予定の金額や贈られる側の欲しいものでも母の日や父の日とは様相が異なっているのも、贈る側が子ども中心となっていることによるものと思われます。

以上